

サイアム商業銀行(SCBn)

CP ALL、ゴジェック、SEA などの有力企業とのパートナーシップ・バンキング戦略によりフィンテック企業に変革へ
 タイ | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SCB:TB | REUTERS SCB.BK

- 2019/12 通期は、総収益が前期比 20.2%増、当期利益が同 0.9%増。ただし、一時的要因を除く調整後の総収益は同 2.8%増だった。
- 貸出や債権に係る損失引当金は、不透明な経済見通しに対応して 3Q (7-9 月) に 91.00 億 THB を引当金計上したため同 50.7%増だった。
- CP ALL、ゴジェック、SEA といった有力企業とのパートナーシップ・バンキング戦略によりフィンテック企業への変革が試されよう。

What is the news ?

1/21発表の2019/12通期は、総収益が前期比20.2%増の1,661億THB、当期利益が同0.9%増の404億THB。ただし、SCB Life Assuranceの株式売却に伴う一時的要因の影響を除くベースの調整後の総収益は同2.8%増の1,421億THB、調整後の営業利益は同2.8%減の715億THBだった。総収益のうち、純金利収益はNIM（純金利マージン）が同0.14%ポイント上昇の3.34%となったことが寄与し、同3.1%増の994億THB。調整後の非金利収益は生命保険の窓販および富裕層向けビジネスが伸び、同2.0%増の427億THB。営業費用は同5.9%増の705億THB。労働法改正に伴う一時費用、人件費の増加、および変革プログラムに係る設備・機器の減価償却費増加が響いた。調整後の経費率は同1.7%ポイント上昇の48.7%。貸出や債権の損失引当金は、3Q (7-9月) に91.00億THBを不透明な経済見通しに係る引当金として計上したことが影響し、同50.7%増の362億THBだった。

貸出残高は前期末比 1.3%減の 2.11 兆 THB。貸出先別では、大企業向けが同 9.0%減、中小・零細企業 (SME) 向けが同 2.8%増、リテール向けが同 4.0%増。預金残高は同横ばいの 2.15 兆 THB だった。3Q (7-9 月) 以降に貸出資産の再分類を行った影響により、4Q (10-12 月) の不良債権 (グロス) は前年同期比 21.0%増の 852 億 THB となり、不良債権比率 (グロス) は同 0.56%ポイント悪化の 3.41%となった。

How do we view this ?

2020/12通期会社計画は、貸出残高が同3-5%増、NIMが3.2-3.4%、非金利収益の前期比伸び率が7-10%、経費率が40%台後半、不良債権比率 (グロス) が約3.4%。大企業向けの貸出残高増加および非金利収益の伸びが課題となろう。同社はセブンイレブンを展開するCP ALL (CPALL) とQRコードによる預金・出金サービスを開始したほか、インドネシアの配車アプリ大手ゴジェックに出資し資本業務提携を行った。更に、アセアン最大のEコマースおよびゲーム開発業者であるSEAのタイ事業部と業務提携し、SEAの決済アプリと自社アプリの連携によりデジタル決済と融資を含むデジタル能力拡張に踏み出した。アセアンの有力企業とのパートナーシップ・バンキング戦略によるフィンテック企業への変革が試されよう。2020/12通期市場予想は当期利益が同7.8%減の373.02億THB。

業績推移

※参考レート 1THB=3.51円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万THB)	175,556	179,495	211,123	141,194	148,073
当期利益(百万THB)	43,151	40,067	40,436	37,302	40,223
EPS(THB)	12.69	11.79	11.90	11.06	11.97
PER (倍)	7.68	8.27	8.19	8.82	8.15
BPS(THB)	107.03	111.91	117.89	123.46	129.76
PBR (倍)	0.91	0.87	0.83	0.79	0.75
配当(THB)	5.50	5.50	5.50	5.69	5.94
配当利回り (%)	5.64	5.64	5.64	5.84	6.10

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB) 5.69 (予想はBloomberg)
 終値(THB) 97.50 2020/2/11

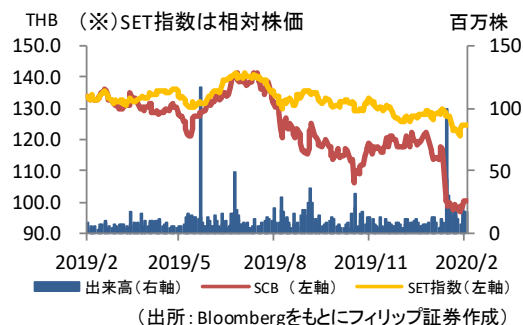
会社概要

1904年にラーマ5世国王の兄弟であるマヒサラ・ラジャハルダヤ王子のパイロットプロジェクトのもと、タイ初の国法銀行「Book Club」として創業。1907年に資本金300万THBで本格的な商業銀行として設立された。「タイの銀行のプロトタイプ」として、タイ経済の発展に寄与してきた。1976年、タイ証券取引所に上場を果たした。

タイを代表するユニバーサルバンクで、幅広い金融商品・サービスを提供している。リテール向けには住宅ローン、個人ローン、自動車割賦販売、クレジットカード、ATMカード、デビットカード、外国為替取引、海外送金などのほか、投資商品やバンカシュランス(生命保険の窓販)商品を提供する。コーポレート、ビジネス向けには、キャッシュ・マネジメントサービス、企業融資、貿易金融、投資銀行サービス、アドバイザー、その他財務関連サービスを提供する。主要な子会社に「SCB証券」、「SCBアセットマネジメント」などがある。タイのほか、シンガポール、香港、上海、ラオス、ベトナム、カンボジア、ケイマン諸島に拠点を持つ。

企業データ (2020/2/12)

ベータ値	1.21
時価総額(百万THB)	337,861
企業価値=EV(百万THB)	-
3か月平均売買代金(百万THB)	1,287.3



主要株主 (2020/2)

1.KING MAHA VAJIRALONGKORN B	23.26
2.VAYUPAK FUND I	23.13
3.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	9.06

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>